

2024年度 全国学力学習状況調査の報告

4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果についてお知らせします。この調査は、毎年全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施し、生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的としています。また、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、全教員で結果の分析と考察を行いました。成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、今後さらに取組を充実させていきたいと考えています。

1. 教科に関する調査結果より



中学校では、国語・数学の2教科を毎年実施し、理科・英語を3年に1度程度で実施します。今年度は、教科に関する調査は国語と数学の2教科を実施しました。

<全国平均と比べた今年度の本校平均正答率>

国語：全国と比べてやや上回っている 数学：全国と比べて上回っている

【国語】漢字や言葉の意味等の知識及び技能面の問題については、全国や県と比較してよくできています。記述問題において、複数の条件を満たして答えることが大切です。この点に関しては、意識して書くことがうかがえました。全国学調では文字数制限はありませんが、実力テスト等では制限が付き、条件の一つになります。今後も主語述語のつながりを意識したり、漢字間違いが無かったりできるよう取り組んでいきます。

また、記述以外の面では、選択肢の問題に課題が残りました。筆者の意図や要旨が読み取れていない状況があります。長文の「読み」の部分重視し、段落ごとに正確に要約していく力が必要です。

【数学】説明する力、活用する力は一定ついてきている様子にあります。授業の中で、ペアやグループを中心にならなれない所を聞き合ったり、「自分の言葉」で説明したりすることを繰り返している効果が出ていると考えられます。しかしながら、中1など以前に学習した内容の定着の課題が見え、中1からの復習も含めて知識や理解を定着させるための家庭学習が一層必要になると考えます。

2. 生徒質問紙の調査結果より

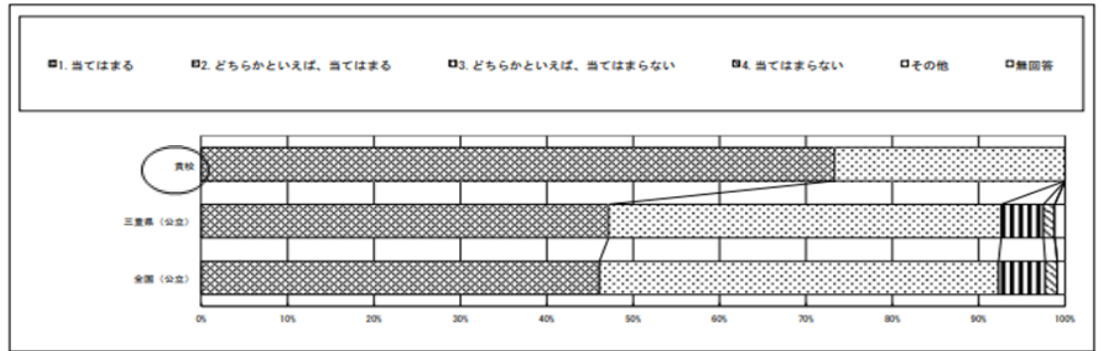


教科の調査とは別に、生徒の学習状況や生活習慣等に対する調査（「生徒質問紙」）も行われました。「生徒質問紙」は、アンケート形式で合計69問。生徒一人ひとりが自分のことについて振り返りました。紙面の関係上一部になりますが、三重県や全国との比較から本校の特徴をお知らせします。

授業に関する質問で『授業の内容はよく分かるか』という質問に対して、国語・数学において90%以上の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答し、県や全国を大きく上回っています。

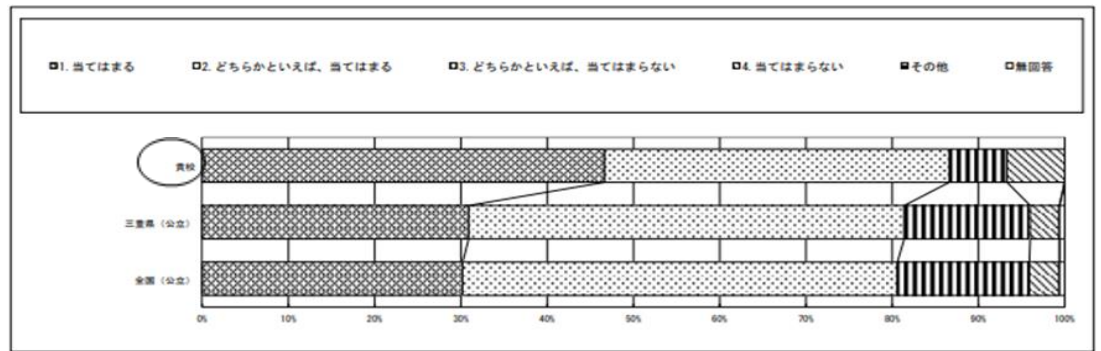
③7『授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか』においては、下記のように肯定的に回答している生徒が100%です。

③7『授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組む』

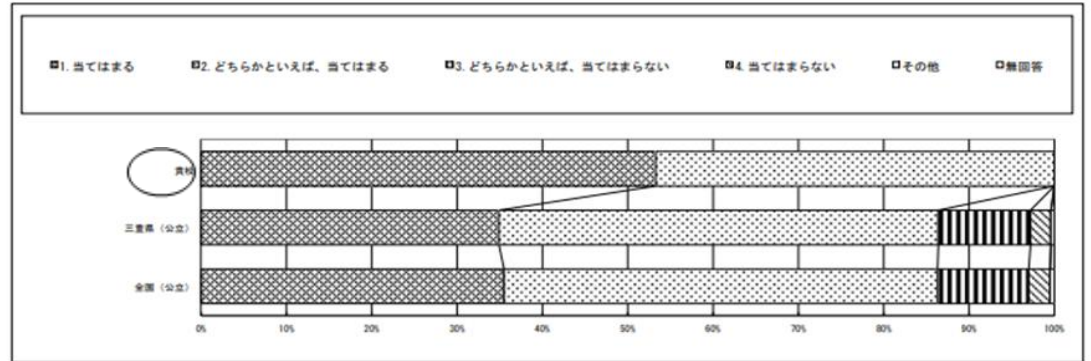


さらに④0『学級活動における学級での話し合いを生かして今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか』という質問に対しても下記のように肯定的に回答している生徒が85%をこえており、③9『あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか』においては、下記のように肯定的に回答している生徒が100%です。

④0『学級活動における学級での話し合いを生かして今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる』



③9『あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている』



学校の授業では「分かった」と思っている、それを定着させていくのは家庭学習です。「自分で解き直す」「自分の言葉でまとめる」「自分で覚える」といったことを家庭学習で繰り返すことが、学校で分かったことを自分のものにするということです。そのためには授業以外で毎日90分以上の学習は必要になります。

3年生は、毎日の授業を自分のものにすると同時に、受験に向けた学習が必要になるので「平日2時間以上」「休日4時間以上」を目安にいきましょう。

学校では2学期、どの学年も学習面で「やり抜く」ことにこだわって、自信をつけて欲しいと伝えています。また、出会い学習やさまざまな体験を通して、自分を見つめるなかで、自身を肯定的に捉えていけるように取組を進めていきます。ご家庭でも家庭学習の応援と合わせて、学年通信等でお知らせしている活動についてもぜひお子さまと話しあっていただき、本人が気づいていない成長を伝えていただけるとありがたいです。

どくしょ あき ねんせいひっけん
読書の秋！3年生必見

家庭での学習時間の確保はもちろん大切ですが、「読解力」をつけるには読書は欠かせません。受検の面接準備にもなります。3年生も朝の読書をしてきたときのように毎日決まった時間に、まずは10分から始めてみてはどうでしょう。1冊読み切ったら確実に「達成感」がありますよ！

<読書の効果>



① 教養や知識が身に付く！

これまで知らなかったことを知るきっかけになります。新しい知識や教養が身に付くため、世界が広がります。読書でインプットした知識は思考の材料になり、必ず自分を豊かにしてくれます。

② 語彙力、文章力が養われる！

本を読むとたくさんの言葉が出てきます。知っている言葉はもちろん知らない言葉も出てくるので、必要に応じて調べることでもあります。すると、自然とたくさんの言葉が身に付くはずですよ。

③ 想像力が豊かになる！

読書は、筆者がどのような意図で書いたか、物語なら登場人物はどのような気持ちだったのか、といった点を考えながら読むと思います。明らかになっていないことを想像するという事は、他人に共感したり相手の気持ちになって考えたりする「精神的な成長」にも役立ちます。

④ コミュニケーション能力が高まる！

会話のキャッチボールをうまく行うには、自分の「感じていることや考えていること」をぴったりの言葉で表現する能力が欠かせません。会話の引き出しが増えることも、スムーズなコミュニケーションにつながるはずですよ。

⑤ ストレス解消になる！

ストレスを減らし「リラックスしやすい状態」をつくれるというのも、読書効果のひとつです。実際に、読書によって、イライラした気持ちがおさまったり前向きな気持ちになったりした経験がある人もいますのではないのでしょうか。非日常を読書で疑似体験することですっきりした、というのもそういうことです。

い が ち く ちゅうがっこうりくじょうきょうぎたいかい けっかほうこく
～伊賀地区中学校陸上競技大会の結果報告！！（8/22～8/23）～

この大会には、総合運動部員を中心に、夏から陸上チームの一員として練習してきた選手も含めて参加しました。結果に納得のいく選手もいれば、もっとできたのに…と悔しい思いをした選手もいるかも知れません。しかし、参加した18人全ての選手は、今の自分ができる最高のパフォーマンスを見せてくれました！

<表彰>

ふりがな省略



おめでとうございます！



トラックの部

100M (オープン)	第2位	内田 悠晟	1
2“98			
1500M (1年オープン)	第3位	清水 誠太郎	5
‘52“13			
低学年400M リレー	第6位		58
“10			

フィールドの部

砲丸投	第6位	松山 歩夢	7M5
0			
円盤投	第7位	森田 優響	6M94
	第4位	松村 莉翔	22M8

【北川 翔哉・内田 悠晟・長野 太臥・奥村 吏玖】

